

令和5年度 第4回 豊田市猿投台地域会議 会議録

| | | | |
|------|---|-------|--------------------|
| 開催日時 | 令和5年7月20日(木) | 開会 | 閉会 |
| | | 午後7時 | 午後 8時15分 |
| 会場 | 猿投台交流館1階 多目的ホール | | |
| 出席者 | 地域会議委員：18人 | | |
| | 会長：宇野 晃 副会長：近藤 鈴男 | | |
| | 委員：生田 隆広 | 伊藤 昌明 | 岡本 正巳 河合 好金 |
| | 呉山 永石 | 清水 有樹 | 須藤 尊久 塚田 芳司 |
| | 塚本 政幸 | 中尾 秀行 | 丹羽 知恵子 原田 千枝美 |
| | 伴 耕治 | 藤中 佐織 | 本多 謙二 山口 五郎 |
| 欠席者 | 2名(伊藤 正史 藤井 修) | | |
| 傍聴者 | 0名 | | |
| 事務局 | 猿投支所：広瀬支所長、太田副支所長、古橋主査 | | |
| 内容 | 1. 豊田市民の誓い(唱和) 2. 会長あいさつ 3. 年間スケジュールについて 4. 提言書(案)に関する協議について 5. 令和5年度の地域課題解決事業について 6. 令和6年度の地域課題解決事業について 7. 情報共有・事務連絡 | | |

■議事(要約)

3 年間スケジュール

事務局から今年度の予定について、資料に基づき説明(資料1頁)

→特に質疑なし

4 提言書(案)に関する協議

提言書の段落ごとに、委員から意見出し。その後、各委員に記入用シートに意見を記入してもらい、回収した。

前文

特に意見なし

背景

- ・花本自治区では、今年4年ぶりに盆踊りを開催する。その際、ジュニアに太鼓の演目で出演をお願いしたが、塾などがあるということで断られた。自治区のふれあいに積極的に参加しようという雰囲気は薄れていると感じた。子ども会を解散しようという動きもある。また、スマホ社会となり、声かけしようとする方が不審者に見られるのがつらい。
- ・平戸橋一区ではジュニアが出てくれる。自治区によって差があるのでは。学校では

地域活動への参加はボランティア活動として取り扱う。

- ・最近、不審者情報が多くスマホに流れてくる。子どもへの注意喚起はどのように行われるのか。
→中学校では保護者にメールが配信される。先生からも、ホームルームなどで注意喚起を行っている。

取組内容

- ・環境美化には義務感で多くの人に参加してくれるが、防災訓練には10人くらいしか参加してくれない。決められたことだけ行っている感がある。盆踊りには参加される。今回も魅力ある取組ができるかにかかっていると思う。
- ・最近は大雨が多く、災害が多発している。この地域も矢作川があり、九州や秋田県のような事例が発生し得る。猿投台中学校区で年に1度は防災フェスタを行う必要があると考えている。自治区、さまざまな団体と連携して実施すべき。東日本大震災後、釜石東中学校と付近の小学校は、走って逃げるという訓練を毎年行っているそうである。
- ・今月、民生委員と自治区の懇談会を行った。民生委員から、堤防が決壊した場合、私たちはどう動けばいいのか（一人暮らし、歩けない人の救助に当たるかなど）わからないとの意見があった。防災訓練を猿投台コミュニティ（防災部会）で行うかを検討した結果、多くの人々が避難所に詰めかけた時にどう動くかを、民生委員も含めて訓練する必要があるとの結論になった。11月12日に実施するので、皆さんにも参加してもらいたい。

期待する効果

特に意見なし

5 令和5年度の地域課題解決事業

矢作川河畔環境整備事業の竹木処分支援について、委託業者が豊田森林組合に決定した。今後関係団体と調整し、作業を行っていく。

6 令和6年度の地域課題解決事業

結論 ⇒ 令和6年度以降の事業の方向性について承認

意見：大雨等の災害により発生した倒木に対し、迅速な対応をお願いしたい。いざ処理をしようとする、対応が市、県どちらなのか揉めることが多く、処理実施まで時間がかかる。堤防全体について、市が一括対応する形にしてもらいたい。

支所：それぞれの所管があるため難しい。言われることは理解できるので、都度国、県、庁内各課と調整して素早い対応ができるように努める。

7 情報共有・事務連絡

- ・豊田市淡水魚類調査会（わくわく事業団体）の成果パネルを交流館2階に展示中。2枚パネル1セットを各自治区に配布する。配布済みの枝下町、西広瀬町を除く各区長は持

ち帰りいただきたい。53種の豊田市淡水魚のパネルになるので、子どもに興味を持ってもらい、環境保全につなげていただければよい。

- ・提言に関し、令和3年度市民意識調査での防災訓練参加状況は市平均46%だが、猿投台地区は61%である。これは旧豊田市内で一番高い数値である。また、「高齢者」は65才以上の者を指すと定義されているが、これは1956年に定義されたものである。
- ・8月の諮問について、市長が参加し、意見交換会が行われる旨を説明。

(次回の予定)

日時：令和5年8月17日（木） 午後7時から

場所：猿投台交流館1階 多目的ホール

内容：諮問答申について